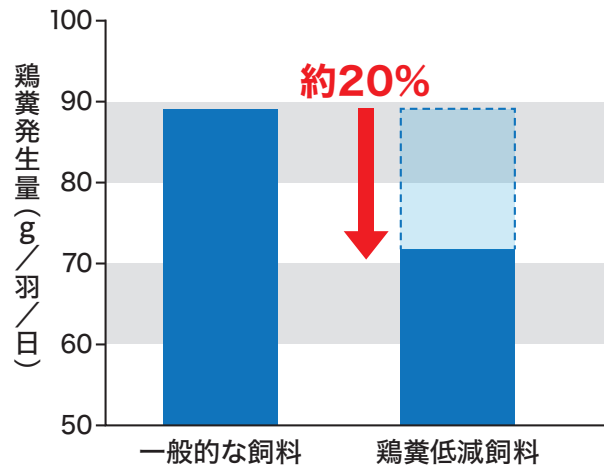


図1 鶏糞低減飼料の給与による  
鶏糞発生量低減効果

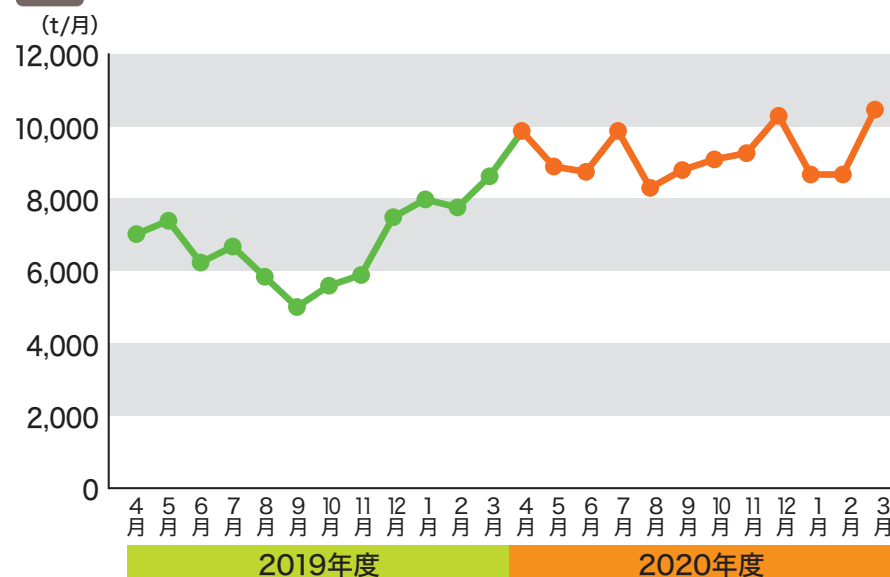


通常飼料を給与した鶏舎の鶏糞量



鶏糞低減飼料を給与した鶏舎の鶏糞量

図2 東北エリアにおける鶏糞低減飼料供給数量推移



全農の新しい複合酵素剤「クミアイゼ」を採用した最新製品のポスター

## 利用のメリット

消化の良い原料を多く配合するため、通常の配合飼料と比較すると価格は高くなりますが、鶏糞処理に大きなコストをかけているような場合には経済的メリットを得る事ができます。これまでの利用者様からは、「コンポの稼働時間が短くなり電気代が節約できた」「鶏糞量が減ってトラックの燃費が良くなった」「糞が固くなり鶏や設備の汚れが減り汚卵が減った」という声もいただいております。多くの側面から経済性を検証する必要がありそうです。また、冬に堆肥需要が減る事で捌ききれない鶏糞がたまりがちな農場では、冬だけでも鶏糞低減飼料に切り替える事でふん詰まり状態になる事を防ぐサポートにもな

## 更なる供給拡大へ

より生産者にとってメリットが得られるよう、鶏糞低減効果が高まる飼料成分や原料の組み合わせを追求した結果、その新規性が認められて特許取得に至りました。特許技術を取り入れた鶏糞低減飼料は、冬が長くて肥料需要期間が短く、鶏糞処理の課題を持つ生産者が多い東北地区を中心に販売拡大をしています(図)。今後、全国の鶏糞処理に課題を抱える生産者へ普及拡大を進めていきたいと考えております。近年、環境問題への関心が高まっています。畜産における糞尿処理については大きな課題となりますので、鶏糞低減飼料の利用がその解決策の1つとなれば幸いです。

ります。その他、日々鶏糞処理に苦悩している農場従業員の方の心身の負担軽減も期待できます。

## 国内の鶏糞発生量と課題

国内には1億4千万羽の採卵鶏が飼育されており、年間で約260万トンの鶏卵が生産されていますが、それにともない年間約800万トンの鶏糞が発生しています。養鶏場から発生した鶏糞は発酵させる事で良質な有機肥料になる一方で、においやハエによる環境問題の原因になりやすく、発酵するための手間や場所も必要なことから、養鶏生産者は処理に苦慮しています。畜種別の苦情発生状況によると、採卵鶏においてはハエなどの害虫による苦情が他の畜種よりも多い傾向にあります(表)。

## 鶏糞低減飼料開発への取り組み

全農飼料畜産中央研究所(以下、研究所)では、養鶏生産者の鶏糞処理にかかる負担を軽減するために、長年にわたって飼料成分や飼料原料の構成により鶏糞発生量が低減できる技術の研究開発を進めてきました。研究所で培った知見の配合飼料への実用化にあたっては、北日本くみあい飼料と共同で進め、いくつもの生産現場で実証試験を行ってききました。毎日鶏糞量を測定していただいたある農場では、一般的な飼料を給与した場合と比較して、鶏糞低減飼料を給与する事で約20%鶏糞発生量が減少したという結果が得られました(図1)。また、別の農場では、回収した鶏糞を積んだトラックの荷台を見て、糞量減少が一目瞭然であるという評価もいただきました(写真)。

| 表 苦情発生状況 |            |            |            |            |              |
|----------|------------|------------|------------|------------|--------------|
|          | 悪臭         | 水質汚濁       | 害虫         | その他        | 合計           |
| 採卵鶏      | 120(13.2)  | 40(11.1)   | 97(42.2)   | 14(5.8)    | 218(14.6)    |
| ブロイラー    | 60(6.6)    | 14(3.9)    | 3(1.3)     | 9(3.7)     | 81(5.4)      |
| 乳用牛      | 240(26.4)  | 75(20.9)   | 50(21.7)   | 87(36.0)   | 389(26.1)    |
| 肉用牛      | 192(21.2)  | 93(25.9)   | 54(23.5)   | 65(26.9)   | 351(23.5)    |
| 豚        | 273(30.1)  | 130(36.2)  | 22(9.6)    | 34(14.1)   | 388(26.0)    |
| その他      | 23(2.5)    | 7(2.0)     | 4(1.6)     | 33(13.6)   | 64(4.4)      |
| 合計       | 908(100.0) | 359(100.0) | 230(100.0) | 242(100.0) | 1,491(100.0) |

出典：農林水産省報告「畜産経営に起因する苦情の発生戸数(令和元年)」